

市指定史跡

甲州街道万願寺一里塚



慶長年間（1596～1615年）、甲州街道が開かれたおりに万願寺に造られた一里塚である。一里塚とは街道の両脇に1里（約4km）ごとに設けられた塚で、万願寺一里塚は、江戸日本橋から9里目にあたる。塚は、直径7～8m、高さ3mの規模を有する。もとは街道をはさんで2基あったが、北側の1基は昭和43年（1968年）12月に取り壊された。

江戸時代初期の甲州街道は、現在の国立市青柳あたりから多摩川を渡り、市内源平島に通じ、万願寺を経て日野宿に入った。その後、貞享年間（1684～1688年）に幕府によって整備され、日野の渡しを通る道筋に改められた。

（『日野市の文化財』1994年3月31日発行より）

昭和36年10月1日指定

※無断転載・使用及び別の媒体に収録して再配布する等禁止。